

## 北海道のホタルブクロとヤマホタルブクロ (キキョウ科)

千歳市 五十嵐 博

### はじめに

ホタルブクロの分布に関しては、館脇 (1954) が松前町に隔離分布すると報告しており、佐竹 (1981) では「北海道西南部～九州、朝鮮半島・中国」とされている。岡崎 (2017) では前記に「サハリン・ウスリー・アムール」が追加されているが道内分布に関しては同様の記述である。ホタルブクロは北海道レッドデータブック (北海道 2001) にも掲載されているが、現在の分布は館脇の報告とはかなり異なっており、在来か否かという疑問がある。

筆者は 2010 年の北海道ブルーリスト (北海道ブルーリスト 2010 北海道外来種データベースとして Web 上で公開されている URL : <http://bluelist.pref.hokkaido.lg.jp/>; 2022 年 12 月 19 日確認) 編集の際にホタルブクロを検討し外来種と判断した。五十嵐 (2016) でも同様に外来種と評価した。松井 (2015) では北海道ブルーリスト 2010 を参考に外来種としている。ホタルブクロとヤマホタルブクロは梅沢 (2007)

で掲載されていないがヤマホタルブクロは梅沢 (2018) で初めて掲載された。佐竹 (1981)、岡崎 (2017) のヤマホタルブクロの分布域は本州 (東北地方南部～近畿地方東部) となっており道内分布記載はない。しかし、筆者は札幌市内でヤマホタルブクロを確認していた (五十嵐 2005)。2022 年は 2 種の確認を進めたので道内の分布状況を報告する。

### ホタルブクロ

ホタルブクロ *Canpanula punctata* Lam. var. *punctata* は岡崎 (2017) では「山野、丘陵に生える多年生草本で、根茎は短く、長い匍匐枝を出してふえることもある。茎は高さ 15-100cm、ほとんど無毛から有毛の場合もある。根出葉は卵心形で翼のある長い柄があるが、花時にはしおれる。茎葉は互生し、下部の葉は翼のある葉柄があるが、上部の葉は葉柄が短いかまたは柄がない。葉身は三角状卵形～披針形で長さ 3-14cm、先はしだいにとがり基部はやや



図1 ホタルブクロ：萼裂片が膨らまず、付属片が反り返る。



図2 ヤマホタルブクロ：萼裂片湾入部が膨らみ、付属片は反らない。写真提供：酒井信氏